

00057

外務省

尙穂積課長ノ言ニ依レハ義捐金ニハ尙多少ノ餘裕アル筈ニ付計算ノ基礎タル總額ニハ大ナル違算無シト思考ス、尤外務省救護費ノ正確ナル殘額ヲ承知シ置ク事ハ今後實際ノ經理上必要ニ付右至急御回電ヲ得度シ

S

11109

057

寫送先

00056

會文人情條通歐  
計書事化報約商米

次官大臣

亞細亞

三浦課長へ

電信課長

1110.21-1-2

外務省

昭和7 四七五七 暗 奉天 二月廿五日前着 亞  
芳澤外務大臣 森島總領事代理  
第二九〇號  
避難民歸還案ニ關シ當方立案ノ基礎タル四十萬圓ハ義捐總額約三十萬圓及救護費總額二十二萬七千圓計五十二萬七千圓中ヨリ二月分ヲ含ム既出ノ費用ヲ約七萬圓ト推定シ(貴方ヨリ各館へ御送附ノ救護費ハ御通報ヲ得サル分アル爲推定ノ外無シ)外ニ今後ノ費用ヲ約五萬圓ト見込ミ算出セルモノニシテ事實上ノ費用ハ義捐金ヲ以テ支辨スルモ救護費ヲ以テ支辨スルモ總額ニ於テ何等變化無キ次第ナリ

S

11109

056

在哥邦人等及引揚手係  
等係引揚手係  
等係引揚手係

00059

百九十八名ニシテ更ニ増加ノ傾向ニアリ安東朝鮮人會ニアリテハ會長金虎贊以下之カ收容保護ニ寧日ナキ有様ナルカ時局モ漸次鐵道ヲ赴キ且農耕期モ切迫シ避難者ノ今後ノ處置ニ關シ關係方面ト共ニ考究ノ折柄無制限ノ收容ハ經費ノ關係モアリ一方原住地歸還ヲ益々困難ナラシムルヲ以テ爾後避難者中歸國歸還希望者ノ取扱以外收容ハ絕對ニナササル方針ヲ以テ之ニ臨ミタル處、新避難者中ニハ本籍地歸還ヲ肯スルモノナシトセサルモ大部分ハ「本籍地ハ只名ノミニテ土地家屋ハ勿論身寄タモ無ク到底生活ノ見込立タヌ又原住地ニハ時局鎮靜ニ向ヒツツアリト雖匪賊ノ横行尙盛ニシテ安シテ業ニツクヲ得サルノミナラス避難者ノ大部分ハ支那人地主ニ對スル負債ヲ其儘ニシテ逃レ來ル者多ク歸還スルモ之等支那人地主ノ壓迫ニ惹ヒ結局餓死ノ已ムチキニ立至ルヘク何處ヘ赴ク

S

11109

059

00058

(分類 A.1.1.0.2/1-2)

安東ニ於ケル避難朝鮮人ノ取扱及處置問題  
 一安東朝鮮人會ニ於テ收容中ノ避難朝鮮人ハ本月三十一日現在一千五

滿關關關問朝内内内  
 東州東東島洋省閣  
 在勤憲軍島管務  
 海兵參務保次記  
 查軍兵參務保次記  
 課武險謀領局局官  
 長官長長事長長官長官  
 殿殿殿殿殿殿殿殿殿

秘

昭和七年二月二十四日

關東廳警務局長

亞細亞局  
關機高第第一〇七二號ノ二

記録簿

昭和七年二月廿九日

S

11109

058

00061

三 避難民ノ處置ニ關シテハ農耕期モ迫リ居ル爲朝鮮總督府、安東領  
 事館、安東朝鮮人會間ニ於テ目下秘密裡ニ考究中ナルカ朝鮮總督  
 府側及安東領事館側ハ一應原住地ニ歸還セシムヘキ意向ナルモ避  
 難者中之ニ同意スルモノ一名モナク前住地歸還ハ死ストモ爲サス  
 ト頑強リ居レリ  
 三 安東朝鮮人會長金虎贊モ四圍ノ狀況ヨリ見テ原住地歸還ヲ強要ス  
 ルハ死ヲ強フルニ等シキモノトシ反對ノ態度ヲ持シ居リ私業トシ  
 テ朝鮮總督府及外務省ヨリ低利資金ノ融通ヲ受ケ一戸宛五天地一  
 一戸五名家族ヲ標準トシ五名以上ノ家ニハ其割合ヲ以テ土地ヲ増  
 減ノ土地ヲ貸與シ一部落三百戸ヲ限リ集團移住セシメ警官駐在  
 所ヲ設置シ自警團ヲ設ケテ治安維持ヲ完全ニシ土地ハ他ニ組合ヲ  
 組織シテ五ヶ年月賦拂トシテ五ヶ年ニ元利共ニ返還シテ返還者ノ  
 者ニ歸セシムトテ目下安東領事館ニ内申中ナリト  
 以上ノ如ク避難朝鮮人ノ措置ニ付テハ相當困難ノ事情アリ安東領事ニ  
 於テハ極力研究中ナリ

以上

S

11109

061

00060

3

三 避難民ノ處置ニ關シテハ農耕期モ迫リ居ル爲朝鮮總督府、安東領  
 事館、安東朝鮮人會間ニ於テ目下秘密裡ニ考究中ナルカ朝鮮總督  
 府側及安東領事館側ハ一應原住地ニ歸還セシムヘキ意向ナルモ避  
 難者中之ニ同意スルモノ一名モナク前住地歸還ハ死ストモ爲サス  
 ト頑強リ居レリ  
 三 安東朝鮮人會長金虎贊モ四圍ノ狀況ヨリ見テ原住地歸還ヲ強要ス  
 ルハ死ヲ強フルニ等シキモノトシ反對ノ態度ヲ持シ居リ私業トシ  
 テ朝鮮總督府及外務省ヨリ低利資金ノ融通ヲ受ケ一戸宛五天地一  
 一戸五名家族ヲ標準トシ五名以上ノ家ニハ其割合ヲ以テ土地ヲ増

S

11109

060

00063

時局以來兵匪横行等ニ依リ與地鮮農ノ滯鐵附屬地避難者増加シ現在既ニ一方四千人ヲ突破シ居レル狀況ニシテ尙逐日増加ノ傾向アリ、而シテ是等鮮農ハ殆ント全部着ノミ着ノ儘避難シ來タレル關係上各地ニ於テハ之カ收容所ヲ設ケテ保護救済ヲ爲シツツアルモ愈々農耕期切迫ト共ニ原地ニ歸還セシメサルヘカラザルノ實狀ニ在ル爲メ奉天總領事館ニ於テハ本月十六日朝鮮總督府穂積外事課長、森島領事其他關係者會合シ之カ對策ヲ協議シタルカ狀況右ノ如シ

記

ト避難民ノ救護ハ可成早目ニ打切ルコトトス

イ、至急各地收容中ノ避難民ノ原住地別調査ヲナスコト

ロ、朝鮮總督府ニ於テ至急係員ヲ各地ニ派遣シ各種調査及避難

S

11109

063

00062

分類

拓務省 内務省 朝鮮總督府 關東軍 關東軍 關東軍 關東軍 關東軍  
次官 記次官 次官 次官 次官 次官 次官 次官 次官  
長官 長官 長官 長官 長官 長官 長官 長官 長官  
股 股 股 股 股 股 股 股 股

避難鮮農ノ原地歸還問題ニ關スル對策打合會開催

S

11109

062

亞細亞局  
關機高鮮第一〇〇三號ノ二  
昭和七年二月二十四日

關東廳警務局長

昭和七年貳月廿九日

00064

ノ歸還事務ニ當ラシム

ハ、治安ノ回復セル地方ヨリ順次歸還セシムルコト

ニ、鮮人ノ救護及歸還事務ニ付テハ奉天ヲ事實上ノ中心トナシ  
必要ニ應ジ各地ニ應援ヲ出ス

ニ、原住地歸還不能者ハ適當ノ耕地ヲ選定シ集團的ニ移住セシム

イ、耕地ノ選定ニ付テハ尙一層各地領事館及東亞勸業ヲ督勵ス

ロ、有望ナル候補地ニ付テハ朝鮮總督府ヨリ適當ナル技術者ヲ

派遣シ實地調査ヲ行ハシム

ニ、原住地歸還鮮農ノ保護ニ付テハ出來得ル限り附近ニ警察官ヲ配  
置ス

イ、原則トシテ關東廳ノ警官ヲ配置スルコトトシ右ニ依リ生シ

タル沿線警備上缺陷ハ朝鮮總督府側ヨリ適當數ヲ應援警官ノ

S

11109

064

00065

派遣ヲ請ヒ之レニ充當ス

ロ、各地領事館ニ至急警官配置ヲ必要トスル箇所及必要人員ヲ

問合スコト

四、避難民歸還ニ際シテハ一戸ニ付旅費、食費等ヲ支給ス

イ、右ハ義捐金ヲ以テ之ニ充ツ

ロ、金額ニ付テハ係官ニ於テ考究ノ上改メテ打合スコト

ニ、避難民及現地ニアリテ農耕資金ニ窮シ居ルモノニ付テハ適當ノ

金融ノ途ヲ講ス

イ、原則トシテ避難民ニ對スル農資金ハ外務省豫算中ヨリ支出

シ其他ノモノニ付テハ朝鮮總督府側ヨリ支出ス

ロ、右ノ場合兩者ノ間ニ不公平ナキ様注意ス

ハ、金額ニ付テハ係官ニ於テ考究ノ上改メテ打合スコト

S

11109

065

00066

議捐金ノ支給農耕資金ノ貸與歸還不能者ノ移殖等ノ實行方法ニ  
付テハ改メテ考究スルコト

以上

11109 066

S

滿洲支軍衝突關係一件  
在青島人休養所及子物中係  
關係人及此等關係  
は(七)

馬

編者附言  
A.L.O. 24  
三矢協定關係一件  
ニテ

00067

(分類 1110.21-1-2)

昭和7 四八五六 暗 奉天 廿五日後發  
本省 二月廿五日後着  
芳澤外務大臣 森島總領事代理  
第三〇八號 (至急)  
貴電第三七號ニ關シ  
先般朝鮮總督府池田警務局長本官ニ對シ三矢協定ノ廢止ニ付テハ朝  
鮮總督府トシテ方針決定シタルニ付本官ヨリ支那側ニ對シ廢止方話  
合ヲ進メラレタキ旨申出アリタル處本廿五日同府警務課長來訪出來  
得レハ數日ノ滯在中ニ廢止ノ手續ヲ講シタキ趣ヲ以テ案文ヲ内示セ  
リ (單ニ大正十四年六月十一日附ノ三矢協定及大正十四年七月八日  
附三矢協定ノ細則ヲ廢止ストノ覺書ニ双方調印スルコトトナリ居レ

外務省

7.2  
S 11109 067

00068

リ一 本官トシテハ同協定ニ關シテハ多年支那下級地方官憲間ニ膠見  
浸込ミ居ル爲今後地方ニ依リ鮮農ノ自警ヲ必要トスルカ如キ場合ニ  
ハ支那官憲トノ間ニ誤解又ハ事故ヲ起スナキヲ保セス從テ避難鮮人  
歸還ニ際シテモ一方的ニ官憲ヲシテ往電第三〇五號保護方命令ヲ出  
サシムルト共ニ他方三矢協定ヲ取消シ置クコト鮮人ノ保護ヲ完全ナ  
ラシムル上ニ必要ト思考シ居ル次第ニテ本協定ノ利害ニ付テハ既ニ  
定評アル如クニモアリ且ツ本件話合ハ同協定締結ノ經緯ヨリ云フモ  
總督府側ニ反對ナキ限り本省トシテ之ヲ差留メラルヘキ理由モナキ  
コトト存スルニ付此ノ際支那側ト話合ヲ始ムルコトト致シタク何等  
御意見モアラハ至急御回電相成度シ

外務省

11109 068

S

大臣

電信課長

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

人文

文會

計書

00069

高送先

(分類 A. 1.1.0.21-1-2)

昭和7 四八二三 暗

安東 本省

二十五日前發 二月二十五日後着

亞

芳澤外務大臣

米澤領事

第四一號

往電第三〇號ニ關シ

徐文海ハ二十三日使者ヲ當地ニ遣ハシ機密第一七三號拙信所報ノ條  
件ニテ歸順ヲ應諾シ且其誠意ヲ表示スル爲即時附近匪賊ノ討伐ヲ行  
ヒ相當成績ヲ舉ケタル後來安公安大隊ノ編成武器買上費ノ受領部下  
ノ解散等最後ノ決定ヲ爲スヘキ旨申出テ本件ハ事實上解決ヲ告ケタ  
リ右ノ結果安東鳳城兩縣下ノ匪賊ノ活動モ遠カラス終熄スルニ至ル  
ヘク同方面治安ノ恢復ト共ニ避難鮮人ノ原地歸還ノ時期モ直ニ促進

記録  
滿洲日支衝突關係一件  
在留日人保護及引揚テ係  
避難鮮人ノ地帯ニ係

外務省

11109 069

S

寫送先

00071

會文人情條通歐  
計書事化報約商米

次官  
亞細亞

電信課長

1-1-2  
(分類 41.1.0.21+2)

外務省

昭和7 四九九〇 暗 奉天 二月廿七日前發 亞二

本省外務大臣 芳澤 第三一四號 森島總領事代理

三浦課長へ

廿五日貴地發聯合ハ關東長官各方面ト接衝ノ結果警官二千七十、巡捕二千四十名増加ニ決定、三月ヨリ實行ノコトトナリタル旨報シ居ル處本件ハ目前ノ急ニ迫リ居ル避難鮮人歸還ト密接ナル關係アルニ付成行承知致シ度シ

S 11109 071

00070

セラール次第ナリ  
奉天、關東廳へ轉電セリ

外務省

S 11109 070



00073

電信案  
外務省

ハ当方ハ勿論 概算有ニテモ  
支ケタルニ詳細ノ旨不明ナル  
ニ付 計劃内容ハ寧ろ口先方ニ於  
テ直接同社ニ向合セラルル方早  
道ナルヘシ 同案ノ中央ニ於ケル  
行ハ大作ニ難ナシヤニ見  
ケルニ委何後報ス

S

11109

073

事件費支辨

A.1.10.21-1-1-2

00072

送第 4679 號

昭和二十一年二月廿七日 時三十分

電信案  
外務省

管主 亞細亞局長  
主任 亞細亞課長  
（昭和二十一年二月廿七日）  
（原議用紙甲）

件 東洋事変  
在會知人保護引揚  
名 在會知人保護引揚  
被疑者及被疑関係  
被疑関係

宛 支島組の代理  
發 支島大五

暗 第八九號

芝電第三一四號ニ  
三浦ヨリ  
同東艦計劃ノ旨支島大五ヨリ  
坊ヨリ支島大五ニ付テノ内示ヲ

S

11109

072

寫送先

00075

會文人情條通歐亞  
計書事化報約商米細亞

次官  
大臣

電信課長

11.10.21-1-2

昭和7 五二七三 暗 奉天 二月廿九日後發 亞  
本省 三月 一日前着

芳澤外務大臣  
森島總領事代理

第三二四號

鮮人避難民歸還ノ前提條件タル警察官ノ臨時出張ニ關シテハ貴電第七三號ノ次第モアリ二十八日ノ沿線領事會議ニ於テ再應協議具體案具申ノ事ニ決定シ居タル處二十九日關東廳警務局長來訪ノ際同廳警察官増員計畫ノ一部ハ既ニ大藏省側ノ了解ヲ得不取敢三月分豫算卜シテ一千五百人分三十五萬圓支出ノ内諾アリ同案ハ近々實現ノ運ヒトナルヘキ旨話シアリ本官ヨリ鮮人現住地歸還ノ爲ニハ大体二百名内外ノ臨時出張ヲ要スルヲ以テ右人員丈其方ニ振向ケ方話合ノ上同

外務省

S

11109

075

寫送先

00074

會文人情條通歐亞  
計書事化報約商米細亞

次官  
大臣

電信課長

11.10.21-1-2

昭和7 五二六九 暗 北平 二月廿九日後發 亞二  
本省 三月 一日前着

芳澤外務大臣  
矢野參事官

第一一〇號

貴電第二九號ニ關シ

牟田ヨリ

目下ノ處救護ヲ要スルモノナシ尙森旅費以外生活費立替ヘタルモノナシ

外務省

S

11109

074

寫送先

00077

會文人情條通歐亞  
計書事化報約商米細亞

次大臣  
官

電信課長

(分類 A.1.1.0. 1-1-2)

昭和7 五二九三 暗 奉天 二月廿九日後發 亞二  
 本省 三月一日前着

芳澤外務大臣  
 第三二六號ノ一  
 本官發沿線各領事宛電報合第一八二號ニ關シ  
 二十八日鄭家屯、鐵嶺、遼陽、營口、安東各領事、長春藏本書記生  
 新民分館主任及穗積外事課長等會合避難民歸還問題ニ關シ協議ノ結  
 果大要左ノ通り  
 一 避難民歸還實行案ハ大体往電第二七二號ノ通り決定セリ但シ食費  
 ノミハ鮮農ノ實情考慮ノ上十圓ヲ増加シ合計一戸ニ付百二十圓ヲ給  
 與スル事トス

外務省

S

11109

077

11109

00076

意ヲ得タルニ付鮮警應援案ハ大体御詮議ノ必要ナシト認ム  
 長春、鄭家屯、鐵嶺、遼陽、安東、牛莊、海龍、通化、新民府へ轉  
 電セリ  
 長春ヨリ農安へ轉電アリタシ  
 鐵嶺ヨリ掏鹿へ轉電アリタシ

外務省

S

11109

076

00078

尤モ右經理ニ付テハ外務省給與費及義捐金ヲ一先ツ奉天ニ集中ノ上  
 避難民ノ戸數ニ應シ一括管轄領事館ニ送附シ管轄領事ニ對シ支途ニ  
 關シ或程度ノ自由裁量ノ餘地ヲ與ヘサル限リ本案ノ運用困難ナリト  
 スルニ一致セリ但當館ヨリ各館ニ送金スル場合ニハ今後新タナル避  
 難民ノ生シタル場合ヲ考慮シ一先ツ一戸當リ百圓見當ヲ送附スルコ  
 トトシ殘餘ハ年度末迄當館ニ保管シ不時ノ用意ニ充ツル事トセリ  
 二避難民ノ現地歸還ノ可能性ニ關シ  
 (イ)現在避難民ノ過半數ヲ<sup>原</sup>現地ニ復歸セシメタル上殘リノ歸還不能者  
 モ全部管内ニ於テ適當ナル耕地ヲ求メ移住セシメ得ル場所、安東、  
 營口(續ク)

外務省

S

11109

078

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

人文

人文

會計

00079

A. 1. 6. 0. 24-1-2

昭和7 五二七一 暗 奉天 二月廿九日後發 亞二  
 本省 三月一日前着  
 芳澤外務大臣 森島總領事代理  
 第三二六號ノ二  
 (イ)管内歸還不能者ヲ適當ノ耕地ニ移住セシメタル上尙他管内ノ歸還  
 不能者ヲ收容シ得ル餘裕アルモノ、遼陽、長春  
 (ロ)歸還不能者ヲ移住セシムルニ適當ノ耕地無キモノ又ハ歸還不能者  
 全部ヲ管内ニテ消化スルコト不能ナルモノ、奉天、鐵嶺及鄭家屯  
 右協議ノ結果大體鄭家屯ノ歸還不能者約七百名ハ長春管内ニ、奉天  
 ノ歸還不能者約千名ハ遼陽及海龍管内ニ移住セシムル見込アルモ鐵  
 嶺ノ避難民約三千一百名ノ大部分ハ最近ニ軍側ニ於テ匪賊討伐ヲ實

寫送先

外務省

S

11109

079

00081

「バラフレーズ」ノ上在滿各領事ニ郵報セリ

外務省

S

11109 081

00080

行セサル限り原地復歸ハ不可能ナルヲ以テ當館ヨリ軍側ニ對シ右討  
伐實行方協議ノ答ナルカ同時ニ何レカニ適當ノ耕地ヲ物色スルヲ要  
スル次第ナリ  
三萬寶山關係鮮農ノ救濟ニ關シテハ（長春發閣下宛二月廿三日附機  
密公第九三號参照）勸業公司ニ引受ケシムルコトトシ右勸業側ト打  
合濟ナリ  
四本協議ニ哈爾濱及吉林ヲ除外シタルハ同方面ノ時局現在尙動搖シ  
ツツアルト北滿ハ南滿ト一括論議スルヲ得サル事情ニアル爲ニシテ  
北滿ニ關スル限り一戸當リ百二十圓ノ資金ヲ各地ニ送付シ各領事ニ  
於テ現地ノ事情ニ應シ適宜處置セシメ度キ所存ニテ右打合ノ爲一兩  
日中ニ法律官補ヲ同方面ニ出張セシムルコトトセリ

外務省

S

11109 080

16

電信課長

大臣

次官

亞細亞  
歐米

00082

會文人情條通歐亞  
計書事化報約商米細亞

寫送先

分類A.1.1.0.2/1-2

昭和7 五二七〇

暗 長春 二月廿九日後發  
本省 三月一日 前着

亞

芳澤外務大臣

森島總領事代理

第三二七號

往電第三二六號ノ一避難民居住地歸還資金ノ經理ニ關シテハ本省ノ  
救護費殘額ヲ一應全部當館ニ御送附ヲ請ヒ義捐金ト一括鹽梅セサル  
限微妙ナル歸還案ノ完全ナル運用ヲ期シ難キハ關係領事ノ一致認ム  
ル處ニシテ且右様取計ハサル限り到底此ノ種複雜ナル經理ヲ行ヒ難  
キ次第ニ付往電第二七四號ヲ以テ申進ノ通救護費殘額當館へ送金方  
至急御取計相成度シ

記録簿  
在另印人係  
在另及救護  
自傳  
引揚  
同係

外務省

S

11109

082

REEL No. A-0085

0050

アジア歴史資料センター

00083

外務省  
トシヤ  
木  
地  
杉

11109-1-2

亞細亞局

普通第一八〇號

昭和七年三月一日

第二號

在 鐵 嶺

領事代理 石 塚 邦 器

外務大臣 芳 澤 謙 吉 殿

歸還鮮人善後措置ノ爲朝鮮總督府囑託來任ノ件

避難鮮人歸還事務ノ爲朝鮮總督府囑託員派遣ノ件ニ關シテハ先般奉

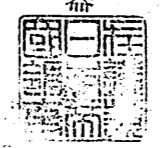
天總領事代理ヨリ電報アリタル處同府外事課勤務湯山仁平客月二十

九日來鐵嶺分ノ間當館ニ駐在執務シ尙開原ニハ同日外事課勤務囑託

鮮人 成昌 愛來 任 同 樣 事 務 ヲ 開 原 署 ニ 於 テ 執 ル 事 ト ナ レ リ

在鐵嶺日本領事館

滿洲省  
在奉天省後引揚子隊  
他歸還事務  
昭和七年三月八日 接受 D



S

11109

083

(記)



00085

外務省

疲弊ノ極ニアリ例年ノ如ク鮮農ニ食費等貸與ノ餘裕ナキ實情等ニ鑑  
 ミ避難鮮農ハ全然糊口ノ途ヲ失フコト必~~然~~ナルノミナラス現在ノ狀  
 況ヨリ見ルニ我官憲ニ於テ此ノ際今秋迄ノ生活ニ對シ何等カノ形ニ  
 於テ保障ヲ與ヘサル限り目下收容中ノ避難民ヲ歸還セシムルコトハ  
 不可能ニシテ結局今日迄ノ救護ヲ全然無意義ナラシムル結果トナル  
 コト明カナリ依テ救護ヲ三月限りニテ打切ル場合ニハ本官等トシテ  
 ハ別ニ政府ニ對シ次年度ノ救護費ヲ別途支出方要求スルコト理論上  
 妥當~~九~~（キモ在ノ方~~法~~ヲ~~執~~ル~~時~~ハ~~必~~有~~ト~~ノ~~折~~衝~~上~~）  
 多大ノ時日ヲ要シ目前ノ急務タル避難鮮農ノ歸還並耕作着手ノ時期  
 ヲ逸シ（續ク）

S

11109

085

寫送先

00084

會文人情條通歐亞  
計書事化報約商米細亞

次官  
大臣

電信課長

11.1.0.21-1-2

昭和7 五四九四 暗 奉天 二日後發  
 本省 三月三日前着 亞  
 芳澤外務大臣  
 第三三九號ノ一  
 貴電第九二號ニ關シ  
 鮮人救護問題ニ關シ種々御配慮ヲ得感謝ニ堪ヘス救護費ヲ當館ニ一  
 括保管スルニ付テハ屢次貴電ノ意ヲ体シ經理上萬遺漏ナキヲ期ス所  
 存ナルモ  
 (-)冒頭貴電第三項ノ通救護ノ期日ヲ名實共ニ三月末日ヲ以テ打切ル  
 トキハ朝鮮總督府側ニ於テ避難鮮農ニ對スル次年度救護費ヲ豫算ニ  
 計上シ居ラサル點（義捐金ノミニテハ不足）並ニ支那人地主ハ大体

外務省

S

11109

084

記



00087

外務省

アリ然ルニ事變後原住地殘留者ニ對シ農耕資金等ヲ貸付ケ（次年度ニ豫算七十萬ヲ計上シアルモ議會ノ關係上其ノ支出農耕期ニ間ニ合ハサル爲右金額ヲ振當ニ東亞勸業等ヨリ融通ノ豫定ナリ）避難者ニ對シ給與スル時ハ兩者ノ待遇ニ不公平ヲ來タシ在滿鮮人對策上不得策ニ付廿八日領事會議ニ於テ協議ノ結果給與金ハ原則トシテ義捐金ヲ以テ之ニ當テ貸與金ニハ外務省救護費殘額ヲ當ツル外無シ但シ對大藏省又ハ會計検査院ノ關係上經理上ニ於テハ救護費（出來得レハ救護費ノ延長タル農耕資金）トシテ年度末迄ニ民會又ハ金融組合等ニ支給シ民會又ハ金融組合ヨリ貸付クルノ形式ヲ採ルコト妥當ナリトノ結論ニ到着セリ冒頭貴電第四項ノ救護費ノ農耕資金トシテ流用ヲ許サストノ御趣旨ハ大藏省又ハ會計検査院ニ對スル關係ヲ御考慮

S

11109

087

寫送先

00086

會文人情通歐亞  
計書事化報約商米細亞

次大臣  
官

電信課長

11.1.21-2

昭和7 五四九六 暗 奉天 二日後發  
本省 三月三日前着 亞  
芳澤外務大臣 森島總領事代理  
第三三九號ノ二  
トニ決定シタル次第ニシテ從テ經理上ニ於テハ年度末迄ニ全部民會  
又ハ金融組合等ニ交付セル形式ヲ採ルコトト致シ度シ  
ニ往電第二二七號ノ二ニ於テハ給與金ハ原則トシテ外務省救護費ヲ  
以テ支辨シ貸付金ハ義捐金ヲ以テ支辨スルノ意嚮ナリシ處朝鮮總督  
府側ニ於テハ義捐金ニ付テハ其ノ性質上貸付ノ形式ヲ避ケ度キ意嚮

外務省

S

11109

086

寫送先

00089

會文人情條通歐亞  
計書事化報約商米細亞

次大臣  
官

電信課長

11.10.21-1-2

昭和7 五四六三 暗 奉天 二日後發  
本省 三月二日後着 亞

芳澤外務大臣 森島總領事代理

第三三九號ノ三

經理上ニ於テハ前記ノ通年度末迄ニ支出濟ノコトニ取計フ意嚮ナル  
ノミナラス避難民ニ對スル農耕資金ハ次年度ニ於ケル救護費ト同様  
朝鮮總督府側ニ於テ追加豫算ニ計上シ<sup>在</sup>テサ<sup>ラ</sup>サル爲義捐金若ハ外務省  
救護費殘額ヲ以テ支辨スルニ非サレハ避難鮮農ニ對スル農耕資金融  
通ノ途全然無キ次第ニシテ往電第三二六號各地領事ニ於テ救護費及  
義捐金ノ<sup>使</sup>途ニ關シ或程度ノ自由裁量ノ餘地ヲ希望シ居ルハ各地事  
情ヲ異ニセル現地ノ事態ニ應シ各費目ノ彼我流用ヲ爲スニ非スンハ

外務省

S 11109 089

00088

ノ結果ト拜察スル處(續ク)

外務省

S 11109 088

00091

「バラフレイズ」ノ上間島、滿洲里ヲ除ク在滿各領事ニ郵報セリ

外務省

S

11109 091

00090

鮮農ノ移<sup>?</sup>民並農耕全然不可能トナル爲ニ外ナラス  
(三)右様ノ次第ニテ(一)(二)ノ點御承認ヲ得サルニ於テハ本官等苦心ノ結果立案セル避難鮮農ノ歸還實行案モ全然實施ノ餘地無ク其結果鮮農ヲシテ去就ニ迷ハシムルニ止ラス對鮮人統治上重大ナル影響ヲ惹起スヘキヲ惧ル加之現下ノ事態ハ例年ト全然事情ヲ異ニセル非常事件ノ結果ニ外ナラスシテ之カ對策モ尋常手段ニ依ルコト無ク臨時應變ノ餘地ヲ殘スルニ非サレハ實行ノ可能性無キ次第ニ付細目ニ捉ハルルコト無ク大局上ノ考慮ニ基キ枉ケテ卑見御採納ヲ得タシ尙本官トシテハ經理ノ關係上今後關係各館ヨリノ救護費支出報告ハ全部一旦當館ニ提出ノ上當方ニ於テ經理上ノ諸點ニ付然ルヘク按配致ス所存ニ付右ニ御含置相成度シ

外務省

S

11109 090

(分類) 11.0.21-1-2)

00092

用 乙 鮮人避難民歸還ニ關シ沿線領事會議開催ニ關スル件

本件ニ關シテハ二月末電報ヲ以テ概要報告申進置ノ次第アル處右補足旁  
々別紙協議事項要領送附ス

本信寫送付先 在滿各領(滿洲里、間島ヲ除ク)

柳井 子

外務大臣 芳澤謙吉 殿

在奉天

總領事代理 森島守



亞細亞局  
機密第一二九號

昭和七年三月二日

第三號

昭和七年三月八日 接受  
別紙添附  
滿洲事變 在留民復歸手續 協議事項 送附 鮮人各地 歸還 手續

S

11109

092

3/5

00093

鮮人避難民ノ歸還ニ關シ二月二十八日奉天總領事館ニ於テ森島奉天總領事代理、穗積朝鮮總督府外事課長、米澤安東領事、荒川牛莊領事、大和久鄭家屯領事、山崎遼陽領事代理、石塚鐵嶺領事代理、藏本書記生、土屋新民<sup>府</sup>分館主任、野口鮮人民會聯合會長、林同副會長、花井東亞勸業株式會社專務、同錦織支配人等會合協議セリ

一、先ツ各領事ヨリ管内避難民ノ歸還狀況ニ關シ報告アリ要領左ノ通  
(一)安東

二月十五日現在救護中ノ避難民數二千六十七名アリ最近徐文海モ歸順セルニ付其内大体一千一百名位ハ現居住地歸還可能ナリ殘餘ノ約九百六十名ハ麻子溝附近ニ約一千天地ノ耕地アルニ付其内ニ全部收容シ得ル見込ナリ歸還資金ハ一括送付ヲ受ケ且ツ其間相當ノ自由裁量ノ餘地ヲ與ヘラレ度尙前記耕地實地調査ノ爲至急技師派遣方取計

11109

093

S

00094

ハレ度  
原地歸還鮮農保護ノ爲所要ノ警官數並ニ其ノ配置個處等ニ就テハ別表参照以下同シ

(二)遼陽

二月十五日現在救護中ノ避難民六十一名アリ右ハ警官ノ配置アリ次第原地ニ全部復歸セシメ得ル見込ナリ尙他ニ遼陽縣城南約一邦里ノ八里莊附近ニ有望ナル耕地約一千五百天地アリ水路及水門構築資金ノ融通ツカハ他管内避難民三千戸位ハ收容シ得ル見込ナリ右實地調査ノ爲至急技師派遣方取計ハレ度

(三)鐵嶺

避難民總數約三千名アリ但シ管内ニ匪賊ノ跳梁未タ甚敷キ爲最近軍側ニテ匪賊討伐ヲ行ハサル限り開原避難中ノ者ノ一部ヲ除ク外ハ殆

11109

094

S

00095

ト歸還ノ見込ナキニ付右討伐實行方至急軍側ト協議アリ度警察官ノ  
配置等モ右討伐後ニ非サレハ不可能ナリ集團的移住候補地ハ三三ア  
リ技師派遣方取計ハレ度  
尙出來得レハ奥地ニ現在モ尙踏ミ止マリ居ル鮮人貧農及現在沿線ニ  
避難中ノモノニシテ救護ヲ受ケ居ラサルモ（約五百名アリ）被救護  
者ト同時ニ相當金融ノ途ヲ講セラレ度

(四) 鄭家屯

二月十五日現在救護中ノ避難民鄭家屯五百十七名洮南四百七十六名  
通遼四百五十三名計一千四百四十六名アリ内鄭家屯避難民ハ公濟號  
農場本年復活スルニ於テハ全部復歸ノ見込アリ但シ洮南收容中ノ者  
ノ内約三百餘名及通遼ノ避難民全部計七百餘名ハ歸還ノ見込ナシ他  
方此等歸還不能者ヲ一括移住セシムヘキ土地ナキニ非サルモ水害、

S

11109

095

00096

警備ノ困難其他ノ關係上此際寧ロ沿線ノ適當地ニ移住セシムルヲ可  
トス

(五) 新民府

管内ニ目下救護中ノ避難民ナク全部奉天ニ收容シ居レリ其内新民屯  
附近ヨリ避難セル者ハ全部歸還セシメ得ル見込ナリ彰武附近ヨリ<sup>避難</sup>  
シ來レルモノ約二百名モ三月中旬頃ニハ歸還セシメ得ヘシ

(六) 牛莊

現在救護中ノ避難民約四百五十名アリ其内三百十名ハ歸還可能ニシ  
テ殘餘ハ遼河東岸ニ約六百天地ノ耕地アルニ付其處ニ移住セシメ得  
ヘシ尙大石橋附近ニモ約二十戸位收容ノ餘地アリ  
尙營口ニ避難シ居ルモ救護ヲ受ケ居ラサル窮民約百三十名アリ出來  
得レハ右モ救護中ノ者ト同様取扱ヒ度

S

11109

096

(イ) 一戸當リノ金額ハ食費ヲ十圓増加シテ合計百二十圓ト變更ス

(ロ) 種籽料及年租料トシテ貸付ケノ分ハ原則トシテ外務省救護費ヲ以テ之ニ充テ尙不足ヲ生シタル場合ハ義捐金ヲ以テ之ヲ補キナフ尤モ右ノ場合ニ於テモ外務省救護費ハ一旦民會又ハ金融組合等ニ交付ノ上民會又ハ金融組合等ヨリ避難民ニ對シ貸付ケノ形式ヲ採ルコトトス

(ニ) 右一戸當リノ金額ハ特別ノ事情ナキ限り變更セサルコトトシ避難民數増加等ノ理由ノ爲資金ニ不足ヲ生シタル場合ハ別途金融ノ途ヲ考慮ス

(三) 外務省救護費殘額ハ經理ノ關係上一先ツ全部本省ヨリ奉天總領事館ニ送附ヲ受ケタル上義捐金ト併セテ避難民ノ戸數ニ應シ各地ヘ一括送附スルコトトス

(七) 長 春

二月十五日現在救護中ノ避難民合計二千九百五十二名アリ外ニ救護ヲ受ケ居ラサル避難民五百十名萬寶山關係ノ窮民約五百名アリ此等ヲ原地ニ歸還セシムルニハ種々ノ困難アルヘキニ付原則トシテ原地復歸ノ可能性ノ有無ヲ問ハス一括安全地帯ニ集團移住セシムルコトトシ度有望ナル耕地ハ充分アリ管内避難民全部收容シタル上恐ラク鄭家屯ノ歸還不能者約七百名ヲモ收容ノ餘力アルヘシ歸還資金ハ一括送附ヲ受ケ其範圍内ニ於テ相當ノ自由裁量ノ餘地ヲ與ヘラシムコトヲ希望ス

ニ右終ツテ原則的協議ニ入ル協議決定事項左ノ通りナリ

(一) 避難民ノ歸還ハ左ノ二點ヲ除ク外原則トシテ既電ノ案(別紙)ニ依ル

00100

(六) 貸付金（種別料及年租料計四十五圓）ニ對スル利率ハ追テ定ムルコトトス

(七) 現ニ救護ヲ受ケ居ラサル避難民並ニ原住地ニ止マリ居ル貧農等ニ對シテハ別途金融ノ途ヲ講ス但シ已ムヲ得サル場合ニハ原地領事ノ裁量ニヨリ送附ヲ受ケタル金額中ヨリ多少ノ融通ヲナスヲ妨ケス

S

11109

100

00099

あつた  
借入金  
の  
ス

(イ) 差當リ一戸宛百圓見當ヲ送附シ殘額ハ年度末迄奉天ニ保管シ避難民不時ノ増加等ニ備フルコトトス

(ロ) 管轄區域外ニ歸還スルモノニ付テハ旅費（一人二圓見當）一ヶ月分ノ食費（一人二圓見當）及住居費ノ一部（一戸五圓見當）ヲノミ現收容地管轄ノ領事館ニ送附シ殘額ハ歸還地管轄ノ領事館ヘ送附ス

(ハ) 右送附ヲ受ケタル金額ノ範圍内ニ於テハ實際上ノ支出ニ付各領事館ニ自由裁量ノ餘地ヲ與フルコトトス

(ニ) 避難民ハ原則トシテ原住地ニ歸還セシムルコトトシ新移住地ハ原住地歸還不能者ノ收容ノ爲餘力ヲ殘シ置クコト

(四) 萬寶山關係ノ窮民ハ本件救護トハ切り離シ別途勸業公司ニ於テ考慮ス

S

11109

099



00102

鄭家屯公濟號	八遠陽城莊南	劉士村	聚賢村	潘河	遼陽中縣城	接安梨樹	大安東溝	大東縣	莊河孤山縣	安東水	安東縣
一四巡捕一	八巡捕三			巡查七巡捕二	七巡捕二	部長一、巡查五	一〇巡捕一	一萬巡捕二		同	
警部補一、巡查一四、巡捕一	警部補二、巡查三六、巡捕一〇				警部補四部長一、巡查七〇、巡捕八						

S

11109

102

00101

安東鳳城縣大堡	五家子	懷德縣	孤榆樹	赫爾蘇	伊通縣	四高中	卡倫	長春縣萬寶山	管轄領事館
二〇巡捕二								一〇巡捕二	位置
警部補一、巡查二〇	警部補八、巡查八〇、巡捕一六							配置人員	計

S

11109

101

鮮人歸還ノ爲警官ノ配置ヲ必要トスル箇所及必要警官數

00104

海	龍清	撫順縣前甸子	撫順縣東社	巴田魯營子	孫家套	西公太堡子	老住牛象	板橋子	諾木瑋	天吳家
	原									荒
	巡查部長一、巡查八、巡捕一、		警部補一、巡查六、巡捕一、		警部補一、巡查一〇、巡捕一、	部長一、巡查八、	巡查五、巡捕一、	巡查四、巡捕一、	巡查五、巡捕一、	巡查四、巡捕一、
	右合計						巡查六、	巡查六、	部長一、	警部補四
	他北山城子、柳河、朝陽鎮、輝南、樣子哨各出張所ニ各部長一名、南、樣子哨各出張所ニ各部長一名、南、樣子哨各出張所ニ各部長一名、南、樣子哨各出張所ニ各部長一名、									

S

11109

104

00103

	天御花園	莊田臺	民彰武	沙陀子	康平	施家堡子	上肥地	大甸子	嶺百旗寨
大石橋	巡查三、巡捕一、	警部補一、巡查八、巡捕一、	警部補一、巡查一五、巡捕二、	巡查五、巡捕一、					部長一、巡查七、巡捕二、
		警部補一、巡查八、巡捕一、	警部補一、巡查一五、巡捕二、						其他舊來ノ出張所ニ巡查廿四名ノ増員ヲ要ス
									巡查六四、巡捕一〇、

S

11109

103

00105

巡捕	巡查	部長	警部補	總計
六〇	三八	二二	二一	

S

11109

105

REEL No. A-0085

0063

アジア歴史資料センター

00107

原書  
1110.21-1-1  
滿洲日支軍衝突事變  
記録一件  
治安維持記録二卷

(分類 1110.21-1-1)

昭和7 五五八二 暗 安東 三日後發  
本省 三月三日後着 米澤領事

芳澤外務大臣

第四四號ノ一

昨日朝鮮總督府立田警務課長本官ヲ來訪シ鴨綠江流域一帯ニ於テ  
ル馬匪賊ノ横行ト之ニ對スル支那側警備ノ不充分トノ結果移住鮮人  
ニシテ鐵道沿線又ハ鮮内へ避難セルモノ夥キ數ニ上リ是等ハ農耕期  
ノ切迫ト共ニ速ニ原地へ歸還セシムル必要アル處其ノ前提條件タル  
地方ノ治安未タ全カラス馬匪賊到ル所ニ蠢動シ居ルニ加ヘ支那人強  
盜各地ニ激増シ移住鮮人ヲ苦シムル爲鮮内歸還者ハ依然續出シツツ  
アルノ實情ニシテ右ハ新國家ノ建設ヲ見ルモ早急ニ之カ改善ヲ期待

外務省

11109 107

寫送先

00106

會文人文情條通歐  
計書事化報約商米

大臣  
次官

電信課長

亞細亞

(分類 1110.21-1-2)

昭和7 五六三三 暗 奉天 三日後發  
本省 三月四日前着 亞 森島總領事代理

芳澤外務大臣

第三四五號

三浦第二課長へ

避難鮮人歸還ニ關シ諸事御配慮ノ段深謝ス大臣宛往電第三三九號申  
進ノ點ニ關シテハ本省トシテハ御不滿ノ點アル事トハ拜察スルモ現  
地ノ事情上已ムヲ得サル措置トシテ右御承認ヲ得サルニ於テハ本件  
歸還案全然不可能ト存スルニ付事情柳井領事ヨリ御聽取ノ上是非承  
認方御配慮ヲ請フ

外務省

11109 106

00109

00108

外務省

昭和 7 五五八八 暗 安東 三日後發  
 本省 三月三日後着

芳澤外務大臣 米澤領事

第四四號ノ二

右ニ對シテハ當館ノ朝鮮側ニ對スル特殊關係ニ鑑ミ特ニ贊否ヲ明言  
 スルコトナク輕ク應對シ居リタル處朝鮮側警察官ノ滿洲進出ハ  
 (一)在滿警察官ノ歸屬系統ヲ複雜ニシ統一問題ノ解決ヲ更ニ困難ナラ  
 シムルコト

(二)新國家警察機關ニハ相當多數ノ日本人顧問入込ミ支那側ヲ指導シ  
 テ治安ノ維持ニ努メ自然鮮人保護ノ方面ニモ從來ニ比シ改善ヲ加  
 ヘラルルコトヲ期待シ得ヘキ點ニ於テ必要ノ理由少キコト及

7.2 S 11109 109

外務省

シ得ヘカラサルニ付避難民ノ原地歸還及現住鮮農ノ引留ノ爲警備上  
 何等對策ヲ講スル必要アリト認メラルト述ヘ差當リ實行可能且有効  
 ナル措置トシテ此ノ際鴨綠江流域三十三ヶ所ニ警察官駐在所ヲ設ケ  
 一ヶ所三名乃至十一名合計百九十九名ノ警察官ヲ常置スルコトトシ  
 右警察官ハ平安北道及咸鏡南道勤務警察官ヲ外務省警察官ニ兼任シ  
 (右兩道ニ於ケル國境第一線ノ警察官ハ全部外務省警察官ニ兼任シ  
 必要ニ應シ駐在所勤務者ト適宜交替セシムルモノトス)之ニ當ルノ  
 案ヲ提出シ右實現方ニ付必要ノ手段ヲ執ラレ度旨申出タリ(續ク)

7.2 S 11109 108

00111

電示ヲ請フ

外務省

7.2 S

11109

111

は(一)

00110

(三) 支那官民ニ對シ新國家カ日本ノ壓力ノ下ニ滿洲併合ノ端緒ヲ開ク  
 モノナルカノ如キ印象ヲ與フルノ處アルコト等對内對外關係共ニ  
 充分ノ考慮ヲ施スノ要アリト認メラルルモ又一面

(一) 在滿警察官ノ歸屬問題ニシテ容易ニ解決シ得サル事情アリトセハ  
 警察官ノ充實カ當面ノ急務ナルヘク

(二) 新國家ノ警察力ハ早急鴨綠江流域一帶ニ迄充實シ獨力治安維持ヲ  
 完ウシ得ヘシトモ思ハレサルニ付新ニ外務省警察官ヲ配置セラレ  
 ヘキ警察署ヨリ融通ヲ受ケ得ルニ非サル限り上流地方ノ現狀ニ鑑  
 ミ鮮人現地保護ノ爲前記朝鮮側提案(一)ケ年豫算事務費、旅費、  
 家賃、賞與計六萬五千六百圓ハ必スシモ一考ノ價值ナキニ非ス  
 トモ考ヘラル就テハ先方ニ對シ回答ノ都合モアリ何分ノ儀至急御

外務省

7.2 S

11109

110

は(一)

00113

テハ避難鮮人ヲ原地ニ歸還セシムルモ種々紛議ヲ生スル惧アルヲ以テ本官ハ鮮農歸還ニ先チ此種原因ヲ除去スル必要アリト思考シ二月二十四日鐵嶺縣政府ニ王執行委員長ヲ訪問シ舊密令ニ依ル地方民ノ誤解防止方並鮮農ニ對スル小作契約條件ノ苛酷ナラサル様縣下各村長、各公安分局等ニ指令シ出來得ルナラハ一般布告ヲ以テ鮮農ニ對スル便宜供與方取計ハレ度ク又歸還鮮農ニシテ中國地主ニ對シ舊債ヲ有シ地主トノ間面白カラサル者アラハ避難鮮人ノ現狀ニ鑑ミ賃返還方法ノ緩和方等ニ付地主側ニ可然說示アリタキ旨申入レ置キタル處同委員長ハ之ヲ諒トシ二月二十五日附ヲ以テ大要別紙譯文ノ如キ佈告ヲ發布セル旨公文ニテ回答アリタリ

右報告ス

在鐵嶺日本領事館

S

11109

113

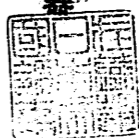
K

00112

鮮農歸還ニ關シ便宜供與方縣政府ニ申入レノ件  
 舊東三省當局者ハ凡有手段ヲ講シテ排日鮮人主義ヲ宣傳シ中國人ニシテ日鮮人ト土地賣買、年租家屋賃貸契約等ヲナス者ハ嚴罰ヲ以テ之ヲ處分スヘキ旨ノ通令、密令ハ滿洲各地ノ隅々ニ迄行キ互リ其ノ關係上地方民ニシテ時勢ノ變化ヲ知ラス今尙該密令等ヲ遵守シテ日鮮人ト土地其他ノ契約ヲ欲セサル者アルヲ保シ難ク此ク

外務大臣 芳澤 謙吉 殿

在 鐵 嶺  
領事代理 石塚 邦



在鐵嶺日本領事館

S

11109

112

普通第一八一號

昭和七年三月三日

鐵嶺支局

第二號 三編

別

昭和七年三月八日 接受

K

00114

本信寫送附先

在中華公使

在北平主席

奉天 吉林 各總領事

長春 鄭家屯 遼陽 牛莊 安東 各領事

洵鹿分館事務取扱

新民府 通化 各分館主任

朝鮮總督府外事課長

在鐵嶺日本領事館

00115

鐵嶺縣政府執行委員會佈告第四六號

查スルニ縣内ニ於ケル韓僑多數アリ從來耕作契約等ニ關シ權利義務ノ内容ヲ確定セス或ハ人ノ種ノ偏見等ノ爲毎年收穫期ニ至リ紛争ヲ生シ契約ノ解除等ヲ來シタル例少カラス、是レ實ニ親善ヲ求ムルノ道ニ非ス應ニ規定ヲ設ケテ紛争發生ヲ防止スヘシ、昨年事變後敗兵、匪賊ノ爲鮮農ノ受ケタル損失ハ甚大ニシテ彼等ハ其ノ住所ヲ失ヒ流離スルノ狀誠ニ同情ニ耐ヘサルモノアリ彼等ヲ優遇スルハ人道ヲ盡ス所以ナリ、故ニ從前鮮人ト合同耕作セル者ハ本年モ引續キ合同耕作スヘク契約ノ解除ヲ許サス又未タ鮮人ト合同耕作ヲナササル土地ニ對シテモ鮮人ノ商租ニ應スヘシ、新舊地主ヲ問ハス將來訂立スヘキ契約ニ關シテハ双方ノ權利義務ヲ詳

在鐵嶺日本領事館

S

11109

115

S

11109

114



00117

右布告ス

右一般ニ布告周知セシム

二月二十五日

委員長 王者貴

副委員長 常 郁 棟

在鐵嶺日本領事館

細ニ規定シ縣政府ニ届出テ以テ秋期ニ於ケル紛争發生ヲ防止スヘシ、該契約ノ一切ノ條件ハ平等ニシテ苛酷ナラサルヘク以テ親善ヲ示スヘシ、在滿鮮人ハ故郷ヲ棄テ遠ク異郷ニ在ル者ニシテ吾人ハ特ニ地主ノ誼ヲ盡シ優遇シ共存共榮ノ實ヲ擧クヘシ、今次新國家成立シ彼我吟域ヲ分タス一視同仁排外思想ヲ存セス且鮮人ハ稻作ニ長シ彼ハ勞力ヲ我ハ土地ヲ提供シ以テ相互扶助ノ道ニ進ムヘシ

00116

布告第四七號

韓僑稻作ニ付テハ第四六號布告ヲ以テ通達濟ナル處家屋及田圃ノ借用ニ關シ從來明確ナル契約ナク從テ權利義務ノ紛優續出ヲ見タルカ之實ニ親善ノ道ニ非ス一般各戸主ニシテ嘗テ其家屋田圃ヲ鮮人ニ貸與セル者ハ自己所用以外ハ引續キ舊小作者ニ貸與スヘシ、且舊契約ノ内容カ現在ノ狀況ニ適セサル時ハ新ニ契約ヲ改訂シ條件ヲ公正ナラシムヘシ、又新規ニ契約ヲ結フ者ハ双方ノ公平ナル權利義務ヲ書面ニテ作成シ縣政府ニ申告シ紛争發生ヲ防止スヘシ、以上契約ニ際シ故意ニ價格ヲ昂騰シ或ハ苛酷ノ條件ヲ附スルヲ許サス

右布告ス

在鐵嶺日本領事館

在鐵嶺日本領事館

S

11109

117

S

11109

116

寫送先

00119

會文人情條通歐亞  
計書事化報約商米細亞

次官大臣

電信課長

1110.2/1-2



第一三二號

芳澤外務大臣

昭和7 五九〇八 暗

吉林 本省

三月七日 後着

亞二

石射總領事

客年往電第一九〇號及本年往電第三一號ニ關シ

朝鮮人避難民原地歸還ニ就テハ著々手配中ニテ之等歸還者ノ原地ニ於ケル善後處置ハ當館ノ指示ニ依リ原地朝鮮人會ヲシテ缺掌セシムルノ外無キ處右朝鮮人會ノ活動ヲ充分ナラシムルニハ是非共前記往電ノ補助費ヲ必要トスル次第ニ付至急重ネテ御詮議ノ上何等費目ヨリ御支出相仰キ度シ

外務省



11109

119

00118

二月二十六日

委員長 王者貴

副委員長 常 郁 棟

在鐵嶺日本領事館



11109

118

00120

電信寫

芳澤外務大臣  
第三六五號  
貴電第一一〇號ニ關シ

昭和三十七年三月七日後着

奉天

秘

本省 三月七日後着

森島總領事

五二

關東廳與地出張ノ件ニ關シテハ本官ニ於テモ御來示ノ出張旅費ニ付  
考慮ノ結果先般來奉ノ關東廳警務局長ニ對シ鮮人保護ノ爲臨時警察  
官ノ出張ヲ要スル場所ハ大體我方ニ於テ警察官派出所ノ新設ヲ必要  
トスル場所ナルニ付派出所新設ノ下心ヲ以テ當該警察官ニ對シ當該  
地駐在ヲ命シ出張旅費ヲ節約スルコト然ルヘキ旨ヲ述ヘ大體ノ了解  
ヲ得置キタル處右御來示ノ次第モアルニ付右方針ニテ更ニ協議スル

11109 120

00121

ヤマト  
合資  
ユキシカ

コトトスヘシ

尙農工資金ノ問題等ト併セ可能性アル計劃立案方御訓令アルモ農工  
資金ニ付テハ往電第三二六號ノ計劃ニ依リ進ムノ外ナシ尤モ外務省  
故護費ヲ農工資金ニ流用方ニ關シテハ木内屬ヨリ御傳達ノ事情モア  
リ右ニハ義捐金ヲ充當スル方針ヲ以テ朝鮮總督府側ト協議スヘシ

11109 121

00123

外務省

林二十名、哈爾濱十五名、鄭家屯、牛莊及遼陽十名、齊々哈爾五名

S

11109

00123

寫送先

00122

會文人文情條通歐亞  
計書事化報約商米細亞

次官  
大臣

電信課長

(分類) A.1.10.21-2

外務省

奉天（分館ヲ含ム以下同シ）及安東四十名、鐵嶺三十名、長春及吉  
括當館宛御送附アリ度ク右菊地、齋藤兩屬ト打合セ濟  
左記  
鮮人避難民歸還ニ關聯シ地方治安維持ノ爲關係各館ニ於テ大体左記  
割當ニ依リ警察官補助員ヲ至急採用致度キ意向ナル處右ニ要スル費  
用合計八千圓（一人一ヶ月四十圓宛トシテ二百人一ヶ月分）便宜一  
往電第三六五號ニ關シ

S

11109

122

第三七六號

芳澤外務大臣

昭和7 六〇九三 暗

奉天 本省

八日後發  
三月九日前着

森島總領事代理

亞

記

書

電信課長

大臣

次官

00124

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 人文 文書 會計

寫送先

(分類A.1.1.0.2/-1-2.)

昭和7 六一四一 暗

鐵嶺 本省

九日前發 三月九日後着

石塚領事代理

第三八號

原住地歸還不能ノ避難鮮人ニ對シ豫テ當館ニ於テハ鐵嶺縣双樹子ヨリ法庫縣下ニ至ル一萬天地ヲ集團的耕作地ニ選定シ右實地調査ノ爲技術者派遣方ヲ朝鮮總督府ニ依頼シ置キタル處八日東亞勸業技術員タケシタスエヨシ 滿鐵奉天地方事務所員 オバナヨシヲノ兩名調査ノ爲來鐵沿道警護方願出アリ同地方ニハ依然匪賊ノ惧アルニ付中島警部補外九名ノ警察官ヲ二日ノ豫定ニテ出張セシムル事トシ一行ハ本朝八時出發セリ 奉天へ轉電セリ

外務省

S

11109

124

記

書

電信課長

大臣

次官

00125

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 人文 文書 會計

寫送先

(分類A.1.1.0.2/-1-2.)

昭和7 六一五八 暗

鐵嶺 本省

九日後發 三月九日後着

石塚領事代理

第三九號

往電第二九號ニ關シ 軍側ニ於テ匪賊掃蕩完了次第避難鮮人ヲ歸還セシムル爲大范河流域白旗寨迄警部補以下二十名 五日ノ豫定(此旅費概算七百三十圓)ニテ出張セシメ内五名ハ鐵嶺縣政府ヨリ當館出張所設立ノ承認ヲ取付クル迄現地保護ノ爲鷄冠山ニ滞在(旅費概算四百八十二圓七十錢)同様開原縣清河流域壤肥地ニ五名ヲ二十日間ノ豫定ニテ滞在(旅費概算五百一圓九十錢)セシメ度(右ハ何レモ集團的旅行ニ對スル本

外務省

S

11109

125

記

記録簿 在另部(係)は及引揚同係 別部(係)は及引揚同係

00126

省ノ旅費額ニ依リ算出セリ）ニ付至急御詮議ノ上何分ノ儀御回電ヲ  
請フ

尙此外開原縣下施家堡子ニ歸還希望ノ避難鮮人目下ノ處三十余戸ア  
リ現地ノ模様ニ依リ歸還ノ際警官ノ出張ヲ必要トスヘク旁拙電第三  
三號ノ件モ亦至急御詮議相成度シ  
奉天へ轉電シ、吉林、間島、長春、牛莊、安東、掬鹿へ暗送セリ

外  
務  
省

S

11109

126

REEL No. A-0085

0074

アジア歴史資料センター